青森県経済統計報告

　　　令和元年12月9日

企画政策部統計分析課

１　青森県の推計人口（令和元年11月1日現在）……………………………………………………　 1

|  |
| --- |
| 県人口　1,245,302人（対前月989人減少）  自然動態　　903人減少（出生者数　 646人、死亡者数　1,549人）  社会動態 86人減少（転入者数 1,262人、転出者数 1,348人） |

２　本県の経済動向（令和元年9月・10月の経済指標を中心として）

（１）経済概況

|  |
| --- |
| 本県経済は、緩やかに回復している。 |

（２）主要経済指標の動向

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| (2-1) | 生産動向 | ・令和元年9月の**青森県鉱工業生産指数**(平成22年＝100)は、季節調整済指数が 107.3 で、前月比1.1％の上昇となり、2カ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は 107.7 で、前年同月比 0.6％の上昇となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。 | … | 2 |
| (2-2) | 雇用労働 | ・令和元年9月の**定期給与**は220,316円で前年同月比1.1％減となった。**総実労働時間**は152.4時間で前年同月比0.4％減、**所定外労働時間**は10.6時間で前年同月比5.3％減となった。  ・令和元年10月の**有効求人倍率**（季節調整値）は1.19倍で、前月を0.03ポイント下回った。 | … | 3 |
| (2-3) | 物　　価 | 令和元年10月の**青森市消費者物価指数**（平成27年=100)は、総合指数が102.8となり、前月比0.1％の上昇、前年同月比0.2％の上昇となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.7となり、前月比0.3％の上昇、前年同月比0.7％の上昇となった。 | … | 5 |
| (2-4) | 個人消費 | ・令和元年10月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが129億円で前年同月比3.1％減となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比2.3％減となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。  ・令和元年10月の軽乗用車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は3,009台で、前年同月比18.3％減となり、4カ月ぶりに前年同月を下回った。  ・令和元年10月の主な観光施設の**観光入込客数**は、840千人で前年同月比3.0％減となり、5カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設の**宿泊者数**は、161千人で前年同月比3.6％減となり、3カ月連続で前年同月を下回った。 | … | 6 |
| (2-5) | 建　　設 | ・令和元年10月の**新設住宅着工戸数**は489戸で、前年同月比11.1％減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。  ・令和元年10月の**公共工事請負額**は130億8,600万円で前年同月比0.5％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。 | … | 7 |
| (2-6) | 企業倒産 | 令和元年10月の**企業倒産**は、件数は7件で前年同月比40.0％増となった。負債総額は2億3,800万円で前年同月比79.6％減となった。 | … | 8 |

（３）景気動向指数ＣＩ（令和元年９月分）………………………………………………………　 …　 　9

|  |
| --- |
| 先行指数　 102.0（前月を5.7ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、3カ月ぶりに下降した）  一致指数　 130.9（前月を6.0ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、2カ月ぶりに上昇した）  遅行指数　 106.2（前月を5.8ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、3カ月ぶりに上昇した） |





**（２－２）雇用労働**

**（２－２－１）給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）**

　令和元年9月の定期給与は220,316円 で、定期給与指数（平成27年＝100）では102.0となり、前年同月比1.1％減と3カ月連続の減（現金給与総額223,198円、現金給与総額指数89.0、前年同月比2.1％減）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は83.1となった。

　総実労働時間は152.4時間で、総実労働時間指数は98.6となり、前年同月比0.4％減と13カ月連続の減となった。このうち、所定外労働時間は10.6時間で、所定外労働時間指数は92.2となり、前年同月比5.3％減と20カ月連続の減となった。





**（２－２－２）有効求人倍率**

令和元年10月の有効求人倍率（季節調整値）は1.19倍で、前月を0.03ポイント下回った。就業地別有効求人倍率は1.31倍で、前月を0.03ポイント下回った。



（参考）充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

　令和元年10月の充足率は21.0％で、前年同月を0.6ポイント上回った。



**（２－３）物価**

　令和元年10月の青森市消費者物価指数（平成27年=100)は、総合指数が102.8となり、前月と比べ0.1％の上昇、前年同月と比べ0.2％の上昇となった。

　生鮮食品を除く総合指数は103.1となり、前月と比べ0.4％の上昇、前年同月と比べ0.2％の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.7となり、前月と比べ0.3％の上昇、前年同月と比べ0.7％の上昇となった。

　総合指数が前月と比べ0.1％の上昇となった内訳を寄与度でみると、住居（設備修繕・維持）、教養娯楽（教養娯楽用品など）などの上昇が要因となっている。

　総合指数が前年同月と比べ0.2％の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料（生鮮魚介など）、住居（設備修繕・維持など）などの上昇が要因となっている。





　※　**寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示した  
 ものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比（％）

の値に一致する。

前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された

指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

　本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

**（２－４）個人消費**

**（２－４－１）百貨店・スーパー販売額**

令和元年10月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが129億円で前年同月比3.1％減となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比2.3％減となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。



　＊　大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メ－トル以上の商店をいう。

そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

**（２－４－２）乗用車新車登録・届出台数**

令和元年10月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,009台で、前年同月比18.3％減となり、4カ月ぶりに前年同月を下回った。普通車、小型車及び軽乗用車のいずれも減少したことによる。



**（２－４－３）観光入込客数・宿泊者数**

令和元年10月の主な観光施設の観光入込客数は、840千人で前年同月比3.0％減となり、5カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設の宿泊者数は、161千人で前年同月比3.6％減となり、3カ月連続で前年同月を下回った。観光施設は青森市、西目屋村等の施設で減少し、宿泊施設は青森市、むつ市等の施設で減少したことによる。





**（２－５）建　　設**

**（２－５－１）住宅建設**

　令和元年10月の新設住宅着工戸数は489戸で前年同月比11.1％減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。主に持家が減少したことによる。



**（２－５－２）公共事業**

令和元年10月の公共工事請負金額は130億8,600万円で前年同月比0.5％増となり、国、独立行政法人等などの増加により2カ月連続で前年同月を上回った。また、令和元年10月までの累計金額は1,429億8,700万円で前年同期比9.7％増となった。



**（２－６）企業倒産**

　令和元年10月の企業倒産は、件数は7件で前年同月比40.0％増となった。負債総額は2億3,800万円で前年同月比79.6％減となった。また、令和元年10月までの累計倒産件数は45件で前年同期比73.1％増、負債総額は56億8,500万円で前年同期比27.0％減となった。



**（３）青森県景気動向指数**

　令和元年９月の青森県景気動向指数（ＣＩ）は、先行指数102.0、一致指数130.9、遅行指数106.2となった。

　先行指数は、前月を5.7 ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、３カ月ぶりに下降した。

一致指数は、前月を6.0 ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、２カ月ぶりに上昇した。

遅行指数は、前月を5.8 ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、３カ月ぶりに上昇した。

９月の一致指数は、雇用関連の１指標以外が全てプラスになったことから上昇した。



